

目標の柱	5	町民と行政との協働によるまちづくりと未来を拓く行政経営
基本目標(政策)	5-1	地域力の向上を図ります
基本計画(施策)	5-1-5	・移住定住の促進と定住者支援の充実

	課	係
主管課・係	総合政策課	地域振興係
	総合政策課	企画政策係
関係課・係	商工観光課	商工振興係
	商工観光課	雇用対策係

### 【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①移住定住する若者が増え、集落内の交流などにより集落機能が活発化します。また、本町への移住者相互の交流が図られる。</p>																																								
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①移住相談総合窓口を設置し、その窓口を通した移住定住者の増加</p>																																								
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>平成29年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 移住相談総合窓口を通した移住者数</td> <td>組</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>※6</td> </tr> <tr> <td>B 若者定住応援プログラム交付金受給者数</td> <td>人</td> <td>28</td> <td>30</td> <td>27</td> <td>30</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	A 移住相談総合窓口を通した移住者数	組	3	6	3	6	※6	B 若者定住応援プログラム交付金受給者数	人	28	30	27	30	40	C							D							
			単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度																																	
	実績値	目標値		実績値	目標値	目標値																																			
A 移住相談総合窓口を通した移住者数	組	3	6	3	6	※6																																			
B 若者定住応援プログラム交付金受給者数	人	28	30	27	30	40																																			
C																																									
D																																									
<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ④ 下回った</td> <td>田舎への移住を希望する方との対応に時間を要している。</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>「職」と「住」の多様なパッケージ提案ができるよう検討する。</td> </tr> <tr> <td>B ④ 下回った</td> <td>制度は浸透してきたが、新規学卒者が減少したため、若干下回った。</td> <td>④ 達成は困難</td> <td>新規学卒者が減少する中、Uターン者の大幅な増加は見込めないため、目標値を下げることも検討。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ④ 下回った	田舎への移住を希望する方との対応に時間を要している。	③ 取組改善で達成可能	「職」と「住」の多様なパッケージ提案ができるよう検討する。	B ④ 下回った	制度は浸透してきたが、新規学卒者が減少したため、若干下回った。	④ 達成は困難	新規学卒者が減少する中、Uターン者の大幅な増加は見込めないため、目標値を下げることも検討。	C				D				<p>5 令和2年度の目標値達成の見込みと方向付け</p>																				
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																						
A ④ 下回った	田舎への移住を希望する方との対応に時間を要している。	③ 取組改善で達成可能	「職」と「住」の多様なパッケージ提案ができるよう検討する。																																						
B ④ 下回った	制度は浸透してきたが、新規学卒者が減少したため、若干下回った。	④ 達成は困難	新規学卒者が減少する中、Uターン者の大幅な増加は見込めないため、目標値を下げることも検討。																																						
C																																									
D																																									
<p>6 「目指すべき状態」に対し、これまでどのような取組を行いましたか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」の実現に向けて、取り組んだことは何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>・UターンだけでなくIターンを重視したいため、他事業と連携し首都圏で暮らす本町出身の若者と対話の場を設けた。</p>																																								
<p>7 施策の「対象」の現状はどのように変化しましたか？</p>	<p>▼ 現状把握に努めましたか。把握した現状とその変化、町民や議会の声などを記入してください。</p> <p>・移住者にとっては雪対策が不安 ・様々な職種での就業を考えている</p>																																								

### 【施策の振り返り】

<p>8 2の成果目標の視点から、成果が上がったことは何ですか？</p>	<p>▼ 成果があったと思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <p>・数値的な成果はありませんでしたが、本町に不足している取組や必要な取組について把握することができた。</p>
<p>9 2の成果目標の視点から、問題点は何か？</p>	<p>▼ 問題があると思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <p>・独自の情報収集 ・多種多様な生活スタイルのモデルを作成 ・Uターンの仕掛けづくり ・将来Iターンに繋ぐための関係人口の関わり</p>

### 【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>10 2の成果目標の視点から施策全体の今後の方向性は？</p>	<p>幅広い年齢層や、職業の方からの情報を収集し、戦略的に定住対策を進めていく必要があることから、定住に特化した人材育成が求められる</p>										
<p>11 上記を踏まえ、施策の目的を実現させるためには、どのような「解決すべき問題への方策」・「達成できた事項をさらに伸ばす方策」がありますか？また具体的な対応・対策をどうしますか？</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:60%;">施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」</th> <th>具体的な対応・対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職業の選択肢を増やす取組をする。</td> <td>ハローワークの情報だけでなく独自の情報収集を進める。</td> </tr> <tr> <td>様々な産業への就業するキッカケづくりが必要</td> <td>南郷トマト生産組合という成功事例を他の産物にも取り入れられないか研究する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策	職業の選択肢を増やす取組をする。	ハローワークの情報だけでなく独自の情報収集を進める。	様々な産業への就業するキッカケづくりが必要	南郷トマト生産組合という成功事例を他の産物にも取り入れられないか研究する。				
施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策										
職業の選択肢を増やす取組をする。	ハローワークの情報だけでなく独自の情報収集を進める。										
様々な産業への就業するキッカケづくりが必要	南郷トマト生産組合という成功事例を他の産物にも取り入れられないか研究する。										

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和元年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)					
			事業費(千円)					
			30年度決算額	うち一般財源	元年度予算額	うち一般財源	2年度見込み額	うち一般財源
01	定住対策プロジェクト事業	総合政策課	目的	人口減少に歯止めをかけ、若者の移住定住の促進を図る。				
			概要	首都圏で行われる移住定住相談会への参加や移住体験ツアーの実施、地域の特色を活かした仕事づくりの調査研究等を行った。				
			成果	相談会等への参加により、移住・二地域居住に関する具体的な相談が3組あった。				
		地域振興係	問題	移住相談者は仕事、住居を重要視している。本町の強みはトマトでの就農を主として、農業に偏ってしまっている。				
			対策	様々な職業の求人や起業の可能性等、総合的な情報収集と発信が必要である。また、将来的に移住に繋がるような対応やUターン希望者へのアプローチも必要である。				
			事業費	3,850	1,936	5,956	2,496	6,000
02	若者定住応援プログラム交付金事業	商工観光課	目的	若者の定住促進と企業での若者の人材育成を図る。				
			概要	町内に正職員として就職した新規学卒者及びU・Iターン者への生活支援と、若者を雇用した企業に支援を行う。				
			成果	27人の定住支援が図られ、町内事業所12社に人材育成支援を行った。				
		商工振興係	問題	前年度とほぼ同数の申請であった。今後は、単発的な支援ではなく、トータル的な定住対策が必要と思われる。				
			対策	事業開始から5年目であり、制度の見直しを視野に入れつつ、結婚対策、子育て環境対策、住宅環境対策、雇用対策等を合わせた総合的な若者定住促進対策を考える必要がある。				
			事業費	6,060	360	5,200	0	5,200
03	ふるさと同窓会事業	商工観光課	目的	町出身の若者が、同窓会をきっかけにふるさとを見直し、Uターンを促進させることを目的に、町内で開催される同窓会経費の一部を支援する。				
			概要	町出身者10名以上(内郡外居住者5人以上)で開催される同窓会の出席者一人当たり①郡内居住者3,000円②郡外居住者5,000円を補助する。				
			成果	8件(参加者総数128人)に対して補助金を交付し、町の定住支援策等をPRした。				
		雇用対策係	問題	直接Uターンに直結する事業ではないことから、事業効果が見えにくい。				
			対策	平成30年度で事業終了。				
			事業費	538	538	0	0	0
04			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
05			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
06			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
07			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
08			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
事業費(一般財源)の合計(千円)			10,448	2,834	11,156	2,496	11,200	3,000